

佐世保戦国 HISTORY

私達の住む町、佐世保の戦国時代のことはあまり知られていません。今をさかのぼること500年程前、私達が普段みている野山で武士たちが「山城」を築き、刀や弓矢をもって戦っていました。今でも当時の息吹を感じさせる遺物が多く残されています。ここでは市内に50箇所ほどあるといわれる山城のなかから代表的なものを8箇所ご紹介いたします。

ウラ面は佐世保の戦国時代を彩った武士たちの人物相関図&城跡と古戦場位置図

3 飯盛城跡

【いもりじょうあと】

創建者 松浦丹後守 親
年代 1535~1615
標高 60m
遺構 (東側遺構) 曲輪・石壁・井戸跡 (西側遺構) 石壁 (山頂付近遺構) 石壁

佐世保戦国史上もっとも重要な城にして所在がつかめない幻の城。

故 山鹿敬紀氏イラスト参照

【現地までのアクセス】相浦町

宗家松浦16代目「親」が旧領だった相浦を回復して築いた城。平戸の度重なる攻撃に耐え、最後まで武力では屈しなかったといわれる城。しかしその痕跡らしきものは周辺に見られるものの、はっきりした場所はいまだに分かっていません。

6 佐世保城跡

【させぼじょうあと】

創建者 松浦丹後源三郎 諫
年代
標高 84m
遺構 掘切・土壁・竪堀 段築・平場・石壁

東西に急峻の崖をもち、周辺一帯に見通しがよく天然の要害

故 山鹿敬紀氏イラスト参照

【現地までのアクセス】城山町

大智庵城主の丹後守政の弟、松浦丹後源三郎諫が佐世保を領して、佐世保諫を名乗り、佐世保城を築城したと伝えられています。諫の死後、遠藤但馬守が城主となりその後は、赤崎伊予守が城主になったといわれています。

1 武辺城跡

【たけべじょうあと】

別名 相神浦城

創建者 松浦丹後守 盛
年代 1443~1498
規模 東西 800m 南北 500m
標高 77.4m
遺構 畝状堅堀・空堀 曲輪・堀切 建物跡 土壁・石壁 陶器ほか出土品

宗家松浦氏、相浦地方進出初の居城。規模は県北最大を誇る。

故 山鹿敬紀氏イラスト参照

【現地までのアクセス】竹辺町

今福にある梶谷城を本拠地としていた宗家松浦氏は1443年頃に13代目盛の時に相浦の地へ本拠地を移します。その時に築いたのがこの武辺城で主郭に居館を配置した大規模なものだったことが、発掘調査により分かっています。

4 東光寺山城跡

【とうこうじやましろあと】

創建者 佐々 持(まつたし) 平戸松浦隆信
年代 1573~1592
標高 73m
遺構 堀切・平場・曲輪

豪僧伝育の棲む東光寺。その頭上に建てられた平戸軍の前線基地。

想像図

【現地までのアクセス】北松浦郡佐々町

平戸軍が飯盛城攻めの際に前線基地として築いた山城です。それ以前は地元の豪族である佐々氏の所有でしたが、平戸軍の介入によって、より堅固な山城として形づくられたものと思われる。

7 広田城跡

【ひろたじょうあと】

創建者 平戸松浦鎮信
年代 1573~1592
標高 50m
遺構 曲輪・土壁・空堀 堀切・竪堀・平場 石壁・石碑

連合軍が落とせなかった平戸松浦氏の南端の守備を担う堅固な山城

別名 牛盗城・牛ノ城

想像図

【現地までのアクセス】広田町

宗家松浦氏を併合し北松浦半島を支配下におく戦国大名に成長した平戸松浦氏は、領土の南方面の守りとして広田城を築きます。井手平城を落とし押し寄せてきた連合軍の攻撃を防ぎ、領土の確保に成功しています。

2 大智庵城跡

【だいちあんじょうあと】

創建者 松浦丹後守 定
年代 1490~1498
標高 70m
遺構 曲輪・土壁・空堀 石壁

絶壁に囲まれた堅城にもかかわらず、一夜にして落城した城

故 山鹿敬紀氏イラスト参照

【現地までのアクセス】瀬戸越

宗家松浦氏が武辺城の次に本拠地として築いた山城ですが、平戸の弘定の夜襲を受け一夜にして落城してしまいます。城主の政は自害し、妻と子の幸松丸は人質として平戸に連れ去られました。

5 直谷城跡

【なおやじょうあと】

創建者 志佐 貞
年代 1243-1247~1615
標高 175m
遺構 曲輪・土壁・木戸 井戸・天守台 石壁・建物跡 陶器ほか出土品

数々の伝説に彩られた魅惑の山城

想像図

【現地までのアクセス】吉井町

古くからこの地方を治めていた志佐氏の居城でしたが度重なる内紛の末に最後は平戸の領地となり、その後一国一城令により破棄されたものと思われる。保存状態が非常に良く県指定史跡となっており、見学しやすい山城の一つです。

8 針尾城跡

【はりおじょうあと】

創建者 針尾氏
年代
標高 25m
遺構 土壁・空堀・平場 建物跡・遺物 陶器ほか出土品

潮の渦巻く瀬戸を見下ろす所に立つ世界史に登場するハリボウの居城

別名 小鯛城

想像図

【現地までのアクセス】針尾中町

古くから針尾島の南部を支配していた針尾氏によって築かれたと思われます。400年もの間、針尾島を領した針尾氏でしたが、戦国大名の大村氏や平戸松浦氏が力をつけていくなかで、ついには島を追い出されてしまいました。

佐世保戦国史年表

- 1443 宗家松浦氏が相浦に本拠を移す。武辺城もこの頃築城か
- 宗家松浦13代盛が新豊寺に巨鐘を贈る。
- 1457 宗家松浦13代盛、朝鮮との歳遣船貿易を約定する。
- 1467 宗家松浦13代盛没す、46歳、墓は中里町の東漸寺。
- 1490 瀬戸越に教法寺建立、大智庵城もこの頃築城か
- 1492 宗家松浦14代定没す、46歳、墓は竹辺町の阿弥陀堂。
- 1497 15代政の子、幸松丸(のちの丹後守親)誕生。
- 1498 大智庵城攻め
- 宗家松浦15代政自害、墓は瀬戸越の志賀神社(現在は大智庵城跡)。
- 1513 志佐家内紛
- 1535 宗家松浦16代丹後守親、相浦の旧領を回復し飯盛城に入城。
- 1542 第1回飯盛城の戦い
- 草の尾の戦い
- 1560 宗家松浦16代丹後守親、有馬氏より盛を養子にする。
- 1563 横瀬浦事件発生
- 第2回飯盛城の戦い(相神浦二年の役)
- 半坂合戦
- 1565 宗家松浦氏と平戸松浦氏の和睦。
- 1569 久津峠の戦い
- 1571 丹後守定(幼名:幸松丸)宗家松浦18代が誕生。
- 1572 佐志方城合戦
- 相当ヶ原合戦
- 龍造寺家に寝返ったとして遠藤一族が暗殺される。
- 1574 飯盛城主の九郎親が家臣の東基助時忠と刺し違えて没す。
- 1576 宗家松浦16代宗金親は大宮古社を遷宮して大宮姫神社とする。
- 1577 宗家松浦16代宗金親没す(9月23日)享年80歳
- 1581 筒瀬祝田原の戦い
- 1586 井手平城の戦い 広田城の戦い
- への峯峠にて平戸・大村両家の境界確立。
- 1593 宗家松浦18代定、朝鮮の役で戦死。墓は相浦町の金照寺。
- 1615 一国一城令により多くの山城が破壊されたと思われる。

※写真はイメージです。 ※年号等は文献により多少の違いがあり、正確ではありません。

ほっぴい FM 87.3MHz 毎週金曜 20:00~21:00
「させぼ戦国HISTORY」放送中!!

詳しくは sasebosengoku.com を見てね!!

させぼせんごくどうとこむ

佐世保戦国 検索

[HP] sasebosengoku.com
[MAIL] info@sasebosengoku.com

©KAKITA 2012.1124 写真・イラスト等の無断転載を禁じます。

佐世保戦国史
登場人物
相関図

平戸松浦家

